

経 営 分 析

項 目		年 度					説 明
		R2	R元	H30	H29	H28	
負 荷 率 (%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	77.95	82.30	81.08	84.28	79.39	この比率が高ければ、年間を通じて施設が平均的に稼働して、効率が良いことを示している。
施 設 利 用 率 (%)	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	52.94	52.17	52.89	53.55	53.83	一日の平均稼働率を表す。
最 大 稼 働 率 (%)	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	67.91	63.38	65.23	63.54	67.81	1日に最高に稼働した場合の数値で100%に近いほど良いとされている。
配水管使用効率 (1 m 当り m ³)	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	19.47	19.28	19.55	19.93	20.16	配水管1m当たりの年間配水量を表し、比率が高いほど効率が良い。
固定資産使用効率 (1 万円 当り m ³)	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	6.83	6.85	6.94	7.11	7.22	固定資産1万円当たりの年間配水量を表し、比率が高いほど効率が良い。
供 給 単 価 (1 m ³ 当り 円)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	149.12	150.20	150.58	151.11	151.04	1m ³ 当たりの販売単価
給 水 原 価 (1 m ³ 当り 円)	$\frac{\text{経常費用}}{\text{年間総有収水量}}$	146.25	147.60	147.69	151.17	151.29	1m ³ を給水するための費用
1 m ³ 当り 収 益 (円)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{年間総有収水量}}$	158.00	159.69	160.94	160.39	163.17	1m ³ 当たりの収益
職 員 1 人 当 り 給 水 人 口 (人)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	3,155	3,359	3,594	3,236	3,103	職員1人当たりの給水人口
職 員 1 人 当 り 給 水 量 (m ³)	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	294,737	307,412	329,117	298,144	285,373	職員1人当たりの給水量
職 員 1 人 当 り 営 業 収 益 (千円)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	45,027	47,374	51,139	46,210	44,045	職員1人当たりの営業収益
給水収益に対する 職員給与費の割合 (%)	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	16.89	15.22	14.93	16.01	16.60	給水収益に対する職員給与費の割合

財 務 分 析

項 目	年 度	年 度					説 明
		R2	R元	H30	H29	H28	
営業収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	102.3	101.7	103.7	102.5	102.5	営業活動の能率を示す指標で、100%以上が理想
経常収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	107.8	107.5	108.1	105.6	107.2	経常的な収益と費用の関係を示す指標で、100%以上が理想
総収支比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	107.7	107.5	108.1	105.6	107.2	総収益と総費用を対比したもので大きいほど良く、100%を超えることは利益があったことを示す
自己資本構成比率 (%)	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$	57.6	57.8	57.3	57.6	57.2	総資本に占める自己資本の割合を示し、比率が高いほど経営は安定している。
固定資産対長期資本比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$	88.1	86.8	86.6	85.7	85.5	固定資産の調達自己資本と固定負債の範囲内で行なえるかどうかの指標で、100%以下で良好
流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	363.6	461.8	424.8	553.0	555.6	短期における支払能力を示す指標で、200%以上で良好
当座比率 (酸性試験比率) (%)	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	361.0	457.1	422.3	549.7	552.3	短期における支払能力を示す指標で、100%以上で良好